

第 41 回 麻布大学同窓会広島県支部総会

日時 平成 22 年 2 月 28 日（日）14：00～

場所 ホテルセンチュリー21 広島

広島市南区的場町 1-1-25

TEL082-263-3111

例年に倣い会計監査を徳本静代（S40 卒）、宮崎佳都夫（S45 卒）監事にしていただき、次に役員会を開催。総会へむけての議案審議、総会及諸行事のスケジュールを打ち合わせたこのところ、弔事が重なり加えて総会参加費を下げたため繰越金が底をつき、運営上問題になると会計上の指摘をうけた。会費納入率 76.4%という所で停滞、対策の必要と毎年のことながら議題にあがった。総会開会にあたり、本支部会員浜井恭二氏（S15 卒）H21 年 4 月 22 日ご逝去に謹んで黙とうを捧げた。そして市場強支部長のあいさつをいただき、議長に高尾信一会員（S59 卒）を選び、スムーズな進行のもと全ての議案、報告事項が提案、報告され承認された。

改めて確認されたことは原則として総会開催日は 2 月第 3 日曜日として、都合ある場合は変更可とする（今回は女性獣医の会と日程が重なった）。獣医学部以外の卒業生も積極的に支部加入を推進する。同窓会本部の副会長白石政美会員（A 昭 58 卒）も広島支部所属である故、本部と連携の上推進していく。長年会費未納者の扱いについて会員資格があるかどうか、未納者に対して役員会議事録、状況写真等を送付して理解を求めるなどの意見がでた。

そして 27 名の出席会員のもと、政岡俊夫学長の講話「麻布大学の近況等について」というテーマで大学の沿革発祥からはじまり、これからの獣医学に求められるものとして人間社会に密接にかかわる自然環境、野生動物、食糧問題について系統的に話されました。大変参考になる有意義な話を聞かせていただきました。副支部長河原田圭三（S36 卒）の閉会のあいさつがおわり、その後政岡学長を囲んで楽しい懇親会が催され、親睦の和を確認し、又来年の再会を期して閉会となりました。

事務局 前田茂（S46 卒）